

科目名称:	基礎教養Ⅰ（幼児教育学科）		
担当者名:	幼児教育学科1年生、2年生担任		
区分	授業形態	単位数	
基礎教育科目	演習	1	
授業の目的・テーマ			
初年次教育「KINJOベーシック」として位置づけられています。受動的な学びを「主体的な学び」に転換できるよう、おもに「アクティブラーニング」の手法を使っていること、「学外活動」への参加を前提としていること、2年生と学び合う「チュートリアル」を組み込んでいることが大きな特徴です。グループワークなどを通して人間関係を広げ、いろいろな思いや考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「書く」「発表する」演習を重ねていきます。コミュニケーション力を高め、自ら考え、自ら学ぶ意識が育つこと、さらに、情報リテラシーを含め、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことを目的としています。そのため、「体育祭」等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。			
授業の達成目標・到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・文献検索方法やメモの取り方など、自ら問題解決するための知識・情報を収集できる。 ・レポートなどで、知識や思考を可視化・文章化し、他者にわかりやすく説明できる。 ・プレゼンテーションに必要な基礎的な技術を習得し、実践に向け役立てる。 ・継続的な生活習慣、学修習慣を身に付ける。 			

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		30	10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学修（特に「学外活動」及びレポート）	期待以上の主体的な事前学修に取り組んでいる。	全ての事前学修に取り組んでいる。	ほぼ事前学修に取り組んでいる。	事前学修を全くしていない。
文書の分かりやすさ・見やすさ・量	期待以上の文書が作成できる。	分かりやすくかつ見やすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できる。	分かりやすい文書を作成できない。量が少ない。
自分の考えの伝え方（グループワークなど）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 大学での学び方① 金城短大を知る（2年生リーダーとのチュートリアル）	「Campus Guide」1ページ目を読んでおく。	10分
第2回 大学での学び方② 人間関係づくり	人間関係づくりからの学びをまとめる。（小レポート）	20分
第3回 大学での学び方③ コンセンサス演習（米川）（グループワーク）	コンセンサス演習からの学びをまとめる。（小レポート）	20分
第4回 大学での学び方④ アクティブラーニングの基本（森田）（グループワーク）	アクティブラーニングの基本からの学びをまとめる。（小レポート）	20分
第5回 大学での学び方⑤ 情報リテラシー	第3回、第4回の資料に目を通し復習しておく	15分
第6回 大学での学び方⑥ 建学の精神・教育理念	学んだ内容をまとめる。	60分
第7回 主体的な学びのすすめ① 身だしなみを考える（グループワーク）	身だしなみについて、事前に考えておく。	20分
第8回 主体的な学びのすすめ② 「学外活動」の意味（グループワーク）	「学外活動」に1回以上参加し、1週間以内にレポートを作成し担任に提出する。	10分
第9回 主体的な学びのすすめ③ 図書館を活用する	事前に配布する資料に目を通しておく。	10分
第10回 主体的な学びのすすめ④ 保育教材をつくる意味（2年生とのチュートリアル）（グループワーク）	チュートリアルからの学びをまとめる。（小レポート）	10分
第11回 主体的な学びのすすめ⑤ 計画を立てて行動する 文献検索方法（保育教材製作の計画と準備）	事前に配布する資料に目を通しておく。	20分
第12回 主体的な学びのすすめ⑥ えのぐの基礎知識	事前に配布する資料に目を通しておく。	60分
第13回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」テーマ：学長講話を受けて	学んだ内容をまとめる。	60分～
第14回 「美化」を意識し習慣にするには 実践	美化について、事前に考えておく。	10分
第15回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」テーマ：「学外活動」からの学び（グループワーク、プレゼンテーション）《ファイルの整理》	「学外活動」の小レポートに目を通しておく。	15分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与10%、提出課題（「学外活動」レポート）30%		
課題に対するフィードバック		
小レポートの記述内容などを担任チームで共有・検討し、次回以降の授業でフィードバックしていく。		
教科書・参考書		
『KINJO Campus Guide』、必要に応じてプリントを配付する。		